

島根県農林水産基本計画
隠岐圏域のR2年目標と主な行動について

隠岐支庁農林局

【農業】

(1) ひとつづくり

項目	県の目標	隠岐のR2目標	隠岐の主な行動 (R2年)
① 新規自営就農者の確保	農業算出額100億円を実現する上で必要な農業経営を確保するため認定新規就農者を倍増 (年60人以上)	新規自営就農者の確保 (認定新規就農者) 4名	・ 包括的就農パッケージの見直し ・ サポート体制の充実
② 中核的な担い手の育成	販売額1000万円以上を中核的担い手の目安とし、新規就農5年で到達できるよう集中的な支援により現在の中核的担い手600⇒1000へ	販売額1000万円達成者2名	・ 新規就農者の早期経営安定支援 ・ 認定農業者の規模拡大支援
③ 集落営農組織の経営改善	組織の法人化、広域連携を推進しつつ、集落営農法人における経営多角化 (水田園芸等) の実施率を60%以上	法人設立に向けた計画策定	・ 集落営農組織の法人化支援
④ 地域をけん引する経営体の増加	確実な販路や生産技術を有する経営体を5経営体以上誘致・育成	該当無し	該当無し
⑤ 将来性のある産地の拡大	マーケットインの視点から生産・販売拡大や担い手の安定確保をイメージする産地ビジョン策定と実現に向けた取組への支援	隠岐牛産地拡大園芸品目流通の一元化の検討	・ 隠岐牛の更なるブランド化と老廃牛の販売支援 ・ 園芸品目流通の仕組みづくり

(2) ものづくり

項目	県の目標	隠岐のR2目標	隠岐の主な行動 (R2年)
① 水田園芸の推進	拠点を核に各品目で算出額10億円以上 (生産額3000万円以上の拠点産地を30カ所以上)	園芸モデル検討 労力補完検討	・ 園芸就農モデルの策定 ・ 労力補完の仕組みづくり
② 有機農業の拡大	市場対応できる産地の育成、有機JAS認証取得を推進、耕地面積に占める取得面積を1%以上	該当無し	該当無し
③ 美味しまね認証を核としたGAPの推進	美味しまねゴールドを核にGAP取得を促し、主要品目で国際水準GAP取得割合を算出額ベースで5割以上	既存取得者支援 新規認証3経営体	・ サポート体制の充実 ・ 上位認証取得に向けた指導
④ 肉用牛生産の拡大	子牛の評価向上につながる繁殖雌牛改良と種雄牛造成を強化し、子牛生産頭数を現行の年7000頭から2300頭以上増	放牧拡大30ha 繁殖雌牛72頭増 子牛45頭増	・ 牧野の整備支援 ・ 繁殖雌牛の増頭支援 ・ 施設機械の整備支援
⑤ 持続可能な米づくりの確立	主食用米の生産面積の担い手シェアを50%以上とし、その担い手の3分の2以上で生産コストを9600円/60kg以下に低減	コスト低減の取組1農家	・ 省力化の実証確認と規模拡大への誘導

(3) 農村・地域づくり

項目	県の目標	隠岐のR2目標	隠岐の主な行動 (R2年)
① 日本型直接支払制度の取組拡大	共同活動未実施の担い手不在集落における取組を年30集落以上増加	直払集落1増	・ 支援チームによるサポート体制の充実
② 地域が必要とする多様な担い手の確保・育成	地域が必要とする農業人材の確保・育成や集落営農の組織化。担い手不在集落の近隣担い手との連携を年30集落以上増加	担い手不在解消集落2集落	・ 担い手確保に向けた話し合い支援
③ 鳥獣被害対策の推進	被害拡大が危惧されるシカ、サルなどの対策強化。市町村体制の強化や捕獲の担い手確保等	新規狩猟免許取得者4名	・ 町村や猟友会と連携した受験者のリクルートやPR(林業部)